



# Library Liébana

## 2024年1月度展示内容のお知らせ

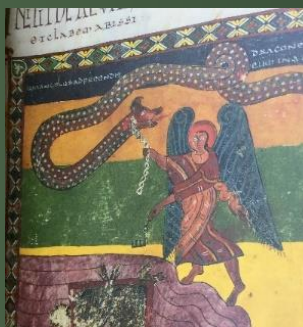
### 【今月のベアトウス写本】

今月は初期の黙示録写本を中心に見てもらいます。9世紀から10世紀にかけて制作された写本は金銀の使用も少なく、絵の描き方も素朴な感じです。

### 【ベアトウス黙示録写本より】



(マドリド写本)  
10世紀前半～半ば



(モーガン写本)  
10世紀半ば

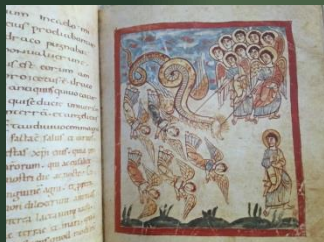


(バルバート写本)  
970年



(ジロナ写本)  
975年

### 【黙示録写本】



(トリア黙示録写本)



(ヴァンシエンヌ黙示録写本)

9世紀初頭に作成された残存する最古の挿絵付き黙示録写本として知られる2冊の写本です。

## ファクシミリ本でみるスペイン黙示録の世界 中世彩色写本を紹介

1月の開館日(予定)  
水・木・金・日曜日  
(HPで確認下さい)

Google Map



愛知県豊田市西町5丁目5  
VITS豊田タウン B1F  
(西町5丁目北交差点の  
外側階段を降りて下さい)  
10:00~17:00

H.P.



Instagram



ファクシミリ本とは：  
オリジナル写本の大きさや色を再現。  
特に羊皮紙の厚みやしわも忠実に  
再現した複製本も多数展示しています。



2024年1月						
1	2	3	4	5	6	7
(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)
8	9	10	11	12	13	14
(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)
15	16	17	18	19	20	21
(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)
22	23	24	25	26	27	28
(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)
29	30	31				
(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)

1月24日(水)はお休み  
1月12日(金)、14日(日)、25日(木)は13時開店  
です。  
12月28日(木)~1月6日(土)はお休み。

## ベアトウスの黙示録註解書写本について

中世初期のイベリア半島北部アストゥリアス地方のリエバナにある修道院の修道士、ベアトウス(ベアトBeato ? -798)が776年に「ヨハネの黙示録註解書」を編纂しました。原本は既に存在していませんが、非常に人気を博し、10世紀から12世紀にかけて多くの写本がイベリア半島はもとよりフランスやイタリアなどで制作されました。ほとんどの写本には、彩色された挿絵が多数描かれており、その鮮やかな色使いと想像力豊かなインパクトの強い挿絵が後世にながく影響を与えてきました。

これまでに発見されたベアトウス写本のうち、挿絵入りのものは29 写本あり、そのうち完本の写本は22写本、断簡の写本が7写本あります。

本ライブラリーには完本22写本のうち19写本のファクシミリ版があります。ファクシミリ版の中には羊皮紙の厚みやシワ・汚れ・破れ・落書きなどをそのまま再現した精巧なものもあります。

1000年近く前に作成された写本の当時の雰囲気味わってください。

### 今月の展示写本

今月は初期(9世紀～10世紀)に描かれた黙示録写本を展示します。色使いや描き方も素朴な感じがする写本です。

ベアトウス写本は当初は修道院で製作されたものが多く、羊皮紙も厚くて高価なものではなく、彩色も金銀が使われることが少なかったです。

#### 【マドリード写本】

10世紀前半に制作された最初期のベアトウス写本挿絵が切り取られている箇所が多く、当初60点以上あったと考えられる挿絵が29点の絵図しか残っていない。

#### 【モーガン写本】

マドリード写本と並んで一番初期の完本写本で、マドリード写本と違い落丁は30葉ほどと少ないと推測。

奥付けに写字・挿画をMAIUS(マイウス)が行ったと記載している。当時の写本では写字生などの名前などは記載されないのが普通であったが、ベアトウスの写本には記載されているものが多い。制作年についてはJ.ウィリアムスは940-945年頃としている。

#### 【バルカバード写本】

970年6月から9月にかけて、レオン王国(スペイン北部)のバルカバード修道院にて製作された。写字・挿画はオベーコ。

モーガン写本と同系統の写本。

#### 【ジローナ写本】

114点の挿絵はほぼ完全な姿で残っており、写本の大きさも縦が約400mmもあり、12世紀以降に制作されたマンチェスター写本などを除けばウルジエ写本と並び当時最大の写本でした。

挿絵は、イスラムの影響を受けたモサラベ風の建築物や服装などが多くみられる。幾何学的な形状、豊かな色、装飾された敷地、様式化された人物といった形に、イスラム美術と装飾的伝統が混ざって表現されている。

写本の最後の署名から、976年7月6日におそらくタバラの修道院で完成しました。挿画はエメテリウス(タバラ写本も制作)とエンが行いました。

挿画はエメテリウス(タバラ写本も制作)とエンが行いました。エンは女性名で修道女と考えられます。このことから女性も写本の制作に参加していたことがわかります。(当時の修道院は男女が厳密に分けられていなかった)

#### 【トリーア黙示録写本】

フランス北西部で製作された残存する挿絵入り黙示録で一番古い写本。

テキストと挿絵が見開きページに向き合って配されている。

#### 【ヴァランシエンヌ黙示録写本】

9世紀初頭(第1四半期)にフランスあるいはドイツで制作されたカロリングスタイルの黙示録写本。トリーア写本と共に、黙示録の完全なテキストと挿絵を伴う残存する最初期の彩色写本。

後世(12世紀頃)に2つの挿絵が最初と最後の余白頁に書き加えられています。